

新川会通信

第56号

すまいる

発行
社会福祉法人新川会

〒930-0362
上市町稗田字七郎谷 1-32
Tel (076) 472-1118
Fax (076) 472-5391
E-mail yotsubaen@niikawakai.jp
HP <http://www.niikawakai.jp/>

発行責任者 山岸 親史



<テーマ>
**今年度を振り返り、
次へ向かって!!**



さて、サービスを利用する障がい者の中に、周囲の状況にうまく順応できず、その意図に反して、周囲を困らせたり、混乱させる人が在ります。そのため、希望する福祉サービスを利用しようとしても、なかなか、周囲の理解が得られず、本人だけでなく、その養育者にとって大切な「居場所」を失い、孤立化するという悪循環に陥ってしまう例が少なくありません。国では、このような状況にある人たちを、「強度行動障害」（「生来的なものでなく、個人の特性と周囲の環境や関わりとの不適合が影響している」と定義し、重点的に対策をすすめています）。

「四ツ葉園」では、開設当時から、処遇困難とされる事例に取り組んできました。平成一七年、「四ツ葉園」の増築の際、「強度行動障害特別処遇事業」の指定（県内二例目）をつけました。そのため、近隣施設の職員等との研究会に参加する等、支援の方について研修と実践を続け、「生活の構造化等、その知見を拡げてきました。また、国、県等が行う「強度行動障害支援者養成研修」に、職員を計画的に受講、支援体制の強化を進めてきました。「生活支援センター小窓」は、入所支援施設「四ツ葉園」に隣接して建設しました。隣接することのメリットとして、日中活動等の相互交流、短期入所等のバツクアップ機能を、柔軟に運用する等、強化によって、サービスの向上と活性化を図つていけるものと思います。

また、医療機関との連携を図り、ケーススタディ等、実践を積み、職員のスキルアップとサービスの質の向上を図り、地域の人たちの関心と期待に応えていきたいと考えています。

**生活支援センター小窓の
開設にあたつて**

新川会理事長 牧野 武

12月 映画



5月 いちご狩り



特
集

四ツ葉園

11月 温泉

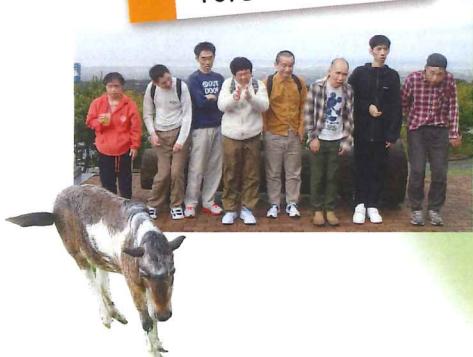


6月 ピザ作り

11月 かみいちフェスティバル



10月 くろべ牧場



今年度で二年目を迎えた選択社会見学。今年は更に利用者さんの希望を取り入れ、「映画鑑賞」と「電車での外出」を追加し企画しました。コロナ感染症が5類となり外出の制限も緩和され、より充実した外出となりました。

どの班も花より団子！行く先々の美味しい香りに誘われ、お腹いっぱいになるまで食事を楽しみました。初めて訪れる場所に嬉しそうな表情を見せてくれたり、初めての体験をし、園で待つ利用者の皆さんにお土産話をしたりと、一人ひとりが思い思いに楽しむことができました。

来年度の選択社会見学も、お楽しみに！

(井原支援員・福島支援員 記)



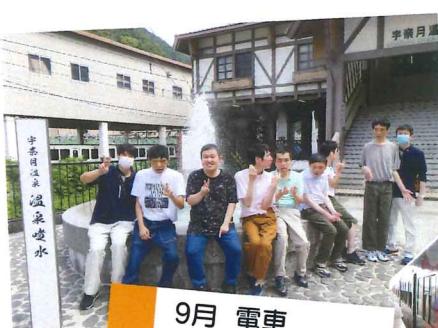
6月 BBQ



7月、9月 フアボーレ



9月 電車



四ツ葉園だより



納涼祭

コロナ感染症で昨年度までは自粛した納涼祭でした。やはり家族でイベントがしたいと、皆様から声をかけられ、今年度はようやくコロナ感染症が始まって四年ぶりの家族のイベントとなりました。女性は艶やかに着物で着飾り、男性は甚平でかつこよい装いで準備オッケーです。



高岡第一幼稚教育の皆さんと協力した激しい太鼓のオープニングは参加していただいた皆さん的心を強くつかみました。その後、上市高校吹奏楽部の本格的な合奏は利用者の皆さんも目を瞑りながら音楽に身をゆだねる時間となりました。

お待ちかねの昼食にはズラーッと色とりどりの屋台が並びました。そうめん・豚串・ポップコーンなど、たくさんの屋台が参加者のお腹を満たしてくれました。SDGsのペットボトル風車を作るブースやゲームブースは学生

【竹風会】さんに来ていただき、踊りを披露してもらいました。最後におわらを皆で踊る様子は、参加者的心に今でも残るところです。今回の納涼祭は、たくさんの方々に楽しむことができ、思い出に残る楽しいひと時になりました。

(酒井係長 記)

四年ぶりの「四ツ葉園祭」

(酒井係長 記)

十月十四日に四年ぶり(新型コロナ期間前)に一般の方の来場を含めた大きなイベント四ツ葉園祭を行いました。久々の教室クラブ発表や展示、お茶席などの機会を設け来場者に日頃の活動を伝える事が出来たと思います。開会式より上市町マスコット『つるぎくん』が参加し、利用者さんが触れ合いながら写真を撮っておりコロナ期間では行えなかつたことがいつどおり行うことができました。また、ステージでは「カターレダンスチーム」による迫力あるダンス、「ショコラ」さんによる人形劇も行い、観る人の目を釘付けにしていました。模擬店ではポップコーンや、焼き芋、どんどん焼き、フルト、カレーなどの食欲をそそる匂いで皆さん笑顔が溢れてい

嬉しい、楽しい、クリスマス

(廣明主任 記)

十二月二十一日に四ツ葉園にて期末の集いを行いました。十二月に入ると利用者の皆さんクリスマスの話題が増え、プレゼントやイベントを楽しみにして笑顔で話しかけて下さる方が多く見られました。今年の期末の集いでは、教室の先生等を招待し皆で歌ったり、身体を動かしたり楽しい時間を過ごしました。また、おやつの際にはたくさんの種類のケーキの中から選ぶ中で、真剣にケーキと見つめ合う姿や「楽しい、美味しい」と笑顔で選ぶ方を見ているとこちらも自然と笑顔になりました。美味しそうな会を行いました。成人者や還暦者をお祝いしたり、おみくじを引いたりして皆さん楽しまれていました。

新年を祝う会

(廣明主任 記)

★1月十七日に東京のシビックホールにて第64回交通安全国民運動中央大会があり、四ツ葉園が交通安全優良団体を受賞しました。



還暦

土肥 恵子さん(左)
皆と楽しく、元気いっぱいに頑張ります。
深川 美輪子さん(右)
これからも健康で元気に過ごしたいです。



新成人

市川 紗綾華さん
楽しく、笑顔いっぱい！よろしくお願ひします。



第64回交通安全国民運動中央大会会場
令和6年1月17日㈯ 14時より
主催：交通安全運転指導センター
主催：交通安全運転指導センター
主催：交通安全運転指導センター

さつき苑だより



楽しかったさつき苑祭

コロナが 5 類に移行したこと
で一番思い出に残った活動は、
コロナ以前に戻すことができた
保護者参加のさつき苑祭です。

苑祭の出し物として今年度は

生活介護班と就労班それぞれの

ダンスに挑戦しました。生活介

護班は午後の班活動時にダンス

の練習をしました。昨年度より

音楽療法で音楽を楽しんでいた

ことがあり、進んで参加される

利用者さんが多かったです。ま

た、繰り返しの練習の中ではじ

めはあまり参加していなかつた

利用者さんが少しずつ踊りを覚

えていく姿など、新しい発見が

みられました。当日はニコニコ

の笑顔が多くみられて

大盛り上がりでした。

就労班は「ツバメ」のダンスを行いました。



少ない練習時間の中、真剣に覚
える姿はさすが就労班です。き
れいに揃ったダンスは保護者さ
んからも好評でした。
さつき苑祭前に利用者さんと
近所にポスターを配りに行きました。
久しぶりの開催でしたが、
当日は地域の皆さんがたくさん
来られました。晴天の空の中、
皆さんと楽しさを共有できま
した。いつも以上に利用者さんの
笑顔が多くみられました。

(村上支援員 記)

雷鳥苑だより



交流会の再開

今年度より、新型コロナウイ
ルス感染症で中止となっていた
小学校との交流会を実施しまし
た。今年度は高野小学校 4 年生
の子供たち 12 名が、にんじんの
皮むきとペットボトルのリサイ
クル作業を体験されました。久
しぶりの訪問者ということもあり、
利用者のみなさんは緊張し
ましたが、緊張した。いつも以上に利用者さん
の笑顔が多くみられました。

ながら作業を行ってい
ましたが、協力して取
り組むうちに笑顔で声
をかけ合う様子がみら
れました。



作業終了後は、小学生による
「おりがみ教室」を実施してもら
いました。小学生が提案した鶴
や兜、サンタクロースなどの折
り方を教えてくれました。折り
方がわからず、困っている利用
者には、一緒に折る、ゆっくり説
明するなど、わかりやすく教え
てくれました。形ができると感



最後には交流会のお礼とし
て、雷鳥苑で製作したマグネット
やドライフルーツを感謝の気
持ちを込めてプレゼントしまし
た。久しぶりの交流会で、利用者
の皆さんも良い刺激となり、樂
しむことができたと思います。

(廣瀬支援員 記)

つつじ苑だより



つつじ苑祭

十一月三日に四年ぶりとなる

つつじ苑祭が行われました。久しぶりに保護者の方が参加される行事ということで、皆さんとても楽しみにしておられました。苑祭当日は天気にも恵まれ、たくさんの方たちで賑わいました。秋の味覚を感じられる食事に、ホット一息つけるドーナツと、移動販売車「かんのくるまコーヒー」、つつじ苑特製のどんどん焼きは大好評でした♪



行事となり、たくさんの笑顔が溢れ、日常が戻ってきたと実感しました。

(岡部支援員 記)

工房よつばだより



工房よつば閉所

二〇十二年に四ツ葉園の敷地内に開所した工房よつばは、この三月で閉所し、四月よりさつき苑と統合します。開所してからの十二年間、振り返ればいろいろな出来事がありました。

毎日続けてきた、慣れ親しんだ受託作業。暑い中、汗を流しながら頑張ったよもぎ採集や畑作業。新幹線やバス、電車といった様々な乗り物に乗って出かけた外出…。そして様々な活動の中には、いつもたくさんの方とのふれあいもありました。

私自身も工房よつばで過ごしてきた時間が長く、いろいろなことが思い出に残っています。この記事を執筆するにあたり、



12年間ありがとうございました!



(朝岡支援員 記)

これまでの写真を見返していくますが、その時の出来事が鮮明に蘇ります。

楽しいことばかりでなく、時に大変なことや辛いこともあります。ですが、皆さんの笑顔があふれる場所で、皆さんの笑顔に支えられながら、今日まで過ごしていました。

慣れ親しんだ場所が無くなることには寂しさもありますが、工房よつばで培った力をもとに、新しい場所でも笑顔いっぱいに光り輝いてくださることを祈っています。

長きにわたり、工房よつばの活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

